

池澤夏樹 〓 個人編集 

# 日本文学全集

全30卷

2020年  
堂々完結!

池澤夏樹

日本人を名乗る我々とは、  
いったい何者なのか？  
混乱の今、  
これは切実な問いである。  
答えを求めて文学に向かおう。



第一線の作家が訳す古典新訳、選び抜かれた近現代作品!

# 日本文学全集 宣言

池澤夏樹

Ikezawa Natsuki

日本人を名乗る我々とは、いったい何者なのか？

混乱の今、これは切実な問いである。

答えを求めて文学に向かおう。

この島々で、我々の祖先たちは千三百年に亘って日本語という一つの言語を使って文学を営んできた（世界でも稀なことだ）。

古代に中国文明と出会って文字を借り、日本語の表記法を編み出した。十九世紀には西欧と出会って近代的な手法を身に着けた。それからの百五十年で社会は大きく変わったが、しかし古代人は今も我々のすぐ隣にいる。

敢えて言うが、日本文学が日本人の特異な性格と思想を作ったのだ。例えば、恋というテーマがこれほど大事にされる文学は他にはなかった。自然観もまた同じ。

古典を現代の言葉に訳し、近現代の指標となった作品を選んで供する。過去を未来へつなげる回路を用意したいと思う。

一九四五年生まれ。作家・詩人。八八年『スタイル・ライフ』で芥川賞、九三年『マシナス・ギリの失脚』で谷崎潤一郎賞、二〇一〇年『池澤夏樹個人編集 世界文学全集』で毎日出版文化賞、一二年朝日賞、ほか多数受賞。他に『カデナ』『アトミック・ボックス』など。



◎推薦のことば

面白く、自然に

大江健三郎

Oe Kenzaburo



この全集は半分近く、近代（漱石に始まる）より前の日本文学を、翻訳でおさめている。最初の翻訳者は『古事記』の面白さを生かす最良の人、池澤夏樹さんで、『源氏物語』はじめ、実力派の小説家たちが力をそそいでいる。近代以降の文学も、多様に選ばれていて、その後を、先の翻訳者たちが継いでゆくこともはっきりわかる。読者は、翻訳の面白さを楽しみ、自然に日本語の文学の全体と向かいあう。

感動をどれほど  
味わわせてくれるだろう

阿川佐和子

Agawa Sawako



あるとき私は知った。百人一首にある「あひみての、のちの心にくらぶれば 昔はものを思はざりけり」の意味はつまり、「一度セックスしちゃったら、それ以前の恋する思いなんて、なんにも考えていなかったのと同じだわ」ということだと。なんだ、今の時代の恋心とちっとも変わらないんだ。そのことに気づいた瞬間、千年を隔てた平安時代がたちまち身近になり、頭の中で十二単を着ているお姫様がいきいきと動き出した。

このたび刊行される日本文学全集は、そういう感動をどれほど味わわせてくれるだろう。楽しみである。



池澤夏樹 個人編集

# 日本文学全集 全30巻

全巻解説 池澤夏樹

01 古事記 池澤夏樹 訳 新訳 2000円 7287-1

世界の創成と神々の誕生から国の形ができてあがるまでを描く  
最初の日本文学。神話と歌謡と系譜からなる錯綜のテクスト  
を今の我々が読める形に。

月報 内田樹、京極夏彦 解説 三浦佑之 帯装画 浦池朋子

02 口訳万葉集 折口信夫 2600円 7287-8

百人一首 小池昌代 訳 新訳  
新々百人一首 丸谷才一

和歌の歴史を始まりから爛熟期まで九百年に亘って辿り、精  
選した歌に注意の訳と周到な註釈を添える。

月報 穂村弘、今日マチ子 解説 岡野弘彦、渡部春明 帯作品 Tinda pothman

03 竹取物語 森見登美彦 訳 新訳 2800円 7287-5

伊勢物語 川上弘美 訳 新訳

堤中納言物語 中島京子 訳 新訳

土左日記 堀江敏幸 訳 新訳

更級日記 江國香織 訳 新訳

「もの」を「かたる」のが文学である。奇譚と冒険と心情、そ  
こに詩的感興が加わって、物語と日記はこの国の文学の基本  
形となった。

月報 小川洋子、津島佑子 解説 島内真一 帯装画 清川あさみ

04 源氏物語 上・中・下 角田光代 訳 新訳

上 3500円 7287-2 中 3500円 7287-9 下 3500円 7287-6

14 南方熊楠 神社合祀に関する意見 2900円 7288-1

柳田國男 海上の道 根の国の話 他

折口信夫 死者の書 妣が国へ・常世へ 他

宮本常一 土佐源氏 生活の記録 他

民俗学は文学のすぐ隣にいる。ではそこまで文学の領域とし  
てしまおう。実際の話、境界はないのだ。

月報 島田隆、坂口恭平 解説 鶴見太郎 帯装画 高木紗恵子

15 谷崎潤一郎 乱菊物語 吉野葛 他 2900円 7288-9

あまりに多才で多面的なこの作家の全容はとも一巻には収  
まらない。それならば最も物語性に富んだものを。

月報 桐野夏生、皆川博子 年譜 土屋俊一 帯装画 会田誠

16 宮沢賢治 疾中 ポラーノの広場 他 2900円 7288-5

中島敦 悟浄出世 悟浄歎異 李陵・司馬遷 他

世界文学を自分の内部に抱え込んだ二人の創作者。詩におい  
て、童話において、小説とエッセーにおいて、奔放にあふれ  
るエネルギー！

月報 夢枕獯、古川日出男 年譜 栗原康教、山下真史 帯写真 川島小鳥

17 堀辰雄 かげろうの日記 ほととぎす 2800円 72887-2

福永武彦 深淵 世界の終り 廃市

中村真一郎 雲のゆき来

西欧の近代文学と日本の古典を同列に置いて学んだ作家たち。  
その果ての達成はしなやかな文体と哀れ深い内容となった。

月報 堀江敏幸、島本理生 年譜 鈴木和子 帯装画 舛次兼

18 大岡昇平 武蔵野夫人 捉まるまで 他 2600円 7288-9

戦争体験とスタンダードがこの作家を生んだ。昭和という時  
代の雰囲気と人間の本性を正確に伝える知性の文学。

価格はすべて本体価格(税別)です。ISBNは978-4-309-以降の下6桁を表示しています。





世に優れて魅力ある男の物語がたくさん登場人物を連ねて  
際限なく広がる。その一方で人の心の奥へも深く沈んでゆく。  
いうまでもなく日本文学最大の傑作。

上・月報 瀬戸内寂庵、大和和紀 解題 藤原克己 帯写真 克木経惟  
中・月報 江國香織、馬場あき子 解題 藤原克己 帯写真 長島有里枝  
下・月報 辻原登、マイケルエメリック 解題 藤原克己 帯写真 川内倫子

07 枕草子

酒井順子 訳 新訳 2800円 7287-3

方丈記

高橋源一郎 訳 新訳

徒然草

内田樹 訳 新訳

随筆とは筆に随うの意である。そこで筆がどれほど自在に遠くまで人を連れ出すことか。現代の日本人の感受性はこれらの随筆に由来すると言ってもいい。

月報 上野千鶴子、武田砂鉄 解題 藤本宗利、浅見和彦 帯写真 花代

08 日本霊異記

伊藤比呂美 訳 新訳

今昔物語

福永武彦 訳

宇治拾遺物語

町田康 訳 新訳

発心集

伊藤比呂美 訳 新訳 2900円 7287-0

説話文学は仏教を説きながら、実は人間のふるまいの放縱を語る。教義からの野放図な逸脱はむしろ哄笑を誘うだろう。

月報 高樹のぶ子、朝吹真理子 解題 小峯和明 帯装画 リーあがり寿

09 平家物語

古川日出男 訳 新訳 3500円 7287-7

古代日本で最も武張った年代記。栄華から滅びにいたる道筋の哀感を、語り物につながる文体で伝える。

月報 高柳勲、安田登 解題 佐佐真 帯装画 松本大洋

10 能・狂言

岡田利規 訳 新訳 3500円 7288-3

説経節

伊藤比呂美 訳 新訳

曾根崎心中

いとうせいこう 訳 新訳

女殺油地獄

桜庭一樹 訳 新訳

菅原伝授手習鑑

三浦しをん 訳 新訳

義経千本桜

いしづかあけみ 訳 新訳

19 石川淳

焼跡のイエス 紫苑物語 他 2800円 7288-8

辻邦生

安土往還記

丸谷才一

横しぐれ 樹影譚

この三人を基底するのはモダニズムという原理である。今の我々の文学はまずもってこの原理の上に成立している。

月報 鹿島茂、町田康 年譜 中条春草 帯装画 古賀春江

20 吉田健一

文学の楽しみ ヨオロッパの世紀末 他 3100円 7289-2

批評という文学形式において近代日本が生んだ最も価値ある二冊。その傍らに巧緻な翻訳と機略の小説、酒脱のエッセーを配する。

月報 松浦寿輝、紫崎友香 年譜 島内裕子 帯装画 林哲夫

21 日野啓三

向う側 ふしぎな球 他 3100円 7289-9

開高健

輝ける闇 痛覚からの出発 他

現代の日本は他の国々に通じ、海の方こうの戦争や、世界観・宇宙観を共有するようになった。我々は今もこういう時代に生きている。

月報 奥泉光、角幡唯介 年譜 上野千鶴子 帯写真 Orange Street

22 大江健三郎

人生の親戚 狩猟で暮したわれらの先祖 他 2900円 7289-6

この人の作品世界は広いのでなかなか全容が見えない。政治と理想、女性原理、辺境などの糸で織ったタペストリー。

月報 中村文則、野崎敏 年譜 尾崎真理子 帯装画 できやん

23 中上健次

鳳仙花 半蔵の鳥 他 2800円 7289-3

辺境は実は世界の中心である。熊野を舞台に、欲望・悲しみ・憤り、すなわち人間の本来を書いた作品群を再構成し、彼の小宇宙を現出する。

月報 東浩紀、星野智幸 年譜 市川真人 帯写真 鎌川実花

24 石牟礼道子

樺の海の記 他 3100円 7289-0

名作『苦海浄土』を背後で支えていたのは古代以来の人の営みと幸福であった。美しい文体がものがる反近代的思想。





仮名手本忠臣蔵 松井今朝子 訳 新訳

かつては、舞台からは人の声が響く。そこから演ずる者と見る者の交流が生じる。その喜びと興奮を現代の言葉で再現する。

月報 酒井順子、後藤正文 解題 宮本幸造、阪口弘之、内山樂樹子 帯装画 五木田智央

11 好色一代男 島田雅彦 訳 新訳 3000円 7283-10

雨月物語 円城塔 訳 新訳

通言総籙 いとうせいこう 訳 新訳

春色梅児誉美 島本理生 訳 新訳

江戸期は市民の時代であり、先取りされた近代であった。日本の小説は既にこの時期に完成していたのかもしれない。

月報 田中優子、宮部みゆき 解題 佐藤至子 帯装画 中村佑介

12 松尾芭蕉 おくのほそ道 松浦寿輝 選・訳 新訳

与謝蕪村 辻原登 選 新訳

小林一茶 長谷川權 選 新訳

とくとく歌仙 丸谷才一 他 2600円 72882-7

俳諧は自然と世間と人間を結ぶ。俳聖たちの句に連歌から発句を経て俳句に至る流れを辿り、現代の連歌として丸谷才一の歌仙を収める。

月報 藤野可織、堀本裕樹 年譜 大谷弘至 帯装画 トウストガンミニット

13 樋口一葉 たけくらべ 川上未映子 訳 新訳

夏目漱石 三四郎

森鷗外 青年 2900円 72883-4

明治はまずもって清新な時代であった。まずは擬古文ながらモダンな一葉の「たけくらべ」を現代語訳で供し、その後「知的な青年を主人公とした「三四郎」と「青年」を配置する。

月報 高橋源二郎、水村美苗 解題 紅野雛介 帯装画 浅野いにお

25 須賀敦子 コルシア書店の仲間たち 他 2800円 72895-7

我々は海外の書を読むだけでなく、海外で暮らすところから生まれる文学を得た。それがなぜかくも豊饒な作品に結実したのか。

月報 長野まゆみ、福岡伸一 年譜 松山慶 帯装画 村橋貴博 (091008)

26 近現代作家集 I・II・III I 2800円 72896-4 II 2800円 72897-1 III 2800円 72898-8

27 I...久生十蘭 泉鏡花 金子光晴 高村薫 全12篇 II...安岡章太郎 井上ひさし 安部公房 上野英信 全20篇 III...内田百閒 村上春樹 津島佑子 筒井康隆 全18篇

この百年の間に書かれた傑作、今こそ読むに値する名作を、もっぱらモダンイズムの尺度から選んで供する。

I...月報 荒川洋治、中島京子 帯装画 基間彌生 II...月報 加藤典洋、斎藤美奈子 帯装画 シンヤマヤキ III...月報 池澤春菜、山本貴光 帯装画 池田学

29 近現代詩歌 2600円 72899-5

詩 池澤夏樹 選

短歌 穂村弘 選 新訳

俳句 小澤實 選 新訳

詩はいつでもどこでも文学の中心。詩や短歌や俳句はむしろかしいという先入観を一掃するセレクションを実現しよう。

月報 北村薫、アイヌ語、日本語、日本国憲法 他 一部新訳 帯装画 松井平

30 日本語のために 池澤夏樹 編 2600円 72900-8

祝詞 漢詩 アイヌ語 日本国憲法 他 一部新訳

日本文学の定義は日本語で書かれていることである。言語と文学の関係の明らかにするための実例と日本語論を幅広く集め、豊饒の由来を明らかにする。

月報 蟹田清、柴田元幸 帯装画 中村大次郎、ホンマタカシ

特設ページ [www.kawade.co.jp/nihon\\_bungaku\\_zenshu/](http://www.kawade.co.jp/nihon_bungaku_zenshu/)



# 古典から現代まで網羅する 新しい日本文学全集



## ●池澤夏樹による個人編集

世界文学全集に引き続き、作家・詩人の池澤夏樹が“世界文学の中の日本文学”と位置付け、時代の変革期である今こそ読みたい作品を、独自の視点で古典から現代まで全30巻にわたって厳選しました。

## ●古典名作を第一線の作家による新訳で

『古事記』(池澤夏樹訳)、『源氏物語』(角田光代訳)から『たけくらべ』(川上未映子訳)まで、不朽の古典作品を第一線の現代作家による新訳で甦らせました。古典新訳を取録する約50年ぶりの日本文学全集です。

## ●斬新な巻立てと魅力ある作品構成の近現代

『日本人とは何か?』『私は誰か?』を問う素材としての文学」という視点から作品を選び抜き、各作家の巻に加えて、民俗学と文学をテーマにした「南方熊楠／柳田國男／折口信夫／宮本常一」、日本語の多様性を提示する「日本語のために」など斬新な巻立てが特徴です。また作家の巻は、小説だけでなく、エッセイ、評論も取録した魅力的な作品構成です。

## ●全作品解説を池澤夏樹が執筆

各巻、全作品の解説を池澤夏樹が執筆しました。古典には専門家による作品解題、近現代には年譜を付け、各巻月報には作家、評論家などの書き下ろしエッセイを掲載しました。

## ●読みやすさを追求

1段組みを基本とし、文字の大きさや書体に工夫をこらしました。また、従来の日本文学全集より多くふり仮名を入れ、読みやすさを追求しました。

## ●美しい日本の伝統色の装幀

カバーは6色の色展開で、帯は各巻にふさわしいイラストや写真で装いました。

『古事記』第49回造本装幀コンクール  
日本書籍出版協会理事長賞受賞



全巻揃定価 [本体] 87,400円(税別)

各巻本体：2,000～3,500円(税別)

セット ISBN 978-4-309-87453-1

※各巻の価格・コードは中面をご確認下さい。

●体裁＝四六寸仲判／上製カバー装／各巻平均500頁／挟み込み月報付

●装幀＝佐々木暁

お申し込み書		河出書房新社特約店	
池澤夏樹＝個人編集 日本文学全集 全30巻			
<input type="checkbox"/> 全巻お申し込み		<input type="checkbox"/> 希望巻のみお申し込み ※巻数をご記入ください	
お名前		お電話番号	
お申し込み日	年 月 日	ご担当	様

河出書房新社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2

Tel: 03-3404-1201 Fax: 03-3404-6386 <http://www.kawade.co.jp/>